

第3回松本市新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事概要

- 1 日時 令和2年3月12日(木) 午後4時45分～午後5時
- 2 場所 松本市役所 議員協議会室
- 3 出席者 各本部長及び指揮班長

4 協議事項

(1) 説明

今後の対応方針について

説明：健康福祉部長

(2) 主な意見 等

教育部長：文教施設につきまして3月4日から対応しているところですが、現在特に大きな混乱は生じないという状況です。

こども部長：開館しております児童館、児童センターの利用状況でございます。

3月2日から実施し、登録児童のみ受け入れるということにしてありますが、利用状況は、登録児童の30%弱の利用となっております。これは、平日の利用が通常ですと50～60%の数になりますので、概ね半分ぐらいということですが、今週の状況ですが、ごくわずかに増えておりまして、30%ちょうどぐらいとなっております。

健康福祉部次長：今の対策は基本的に、今後、もしまん延した時に、その時の影響をいかに最小限に抑えられるかといったところで、発生した集団をいかに捉えてその拡大を防ぐことができるか。クラスターを拡大させないという対策の中で、まず一つは個人予防策として、移らない、移さないといった対策、ここをしっかりと周知徹底をさせていくということと、やはり今回も、議題にありますが、イベント等の集団からの感染を防ぐといったところで、そういったところの自粛を当面徹底していくといったこと。それと共に、今後まん延が起こったときに、一つは今、県と保健所でやっているところですが、入所者の治療をしっかりとできる体制を整えていくこと。あとは、社会機能の混乱をいかに防いでいくかということ。そういったところを今の段階から準備していくというフェーズにありますので、そういった観点から、それぞれの皆さんが、この対策を立てていただいて、このまん延を防止するというのが一番の観点であります。今後さらに増えてきた場合には、対応がとれるように、今から準備する段階であるということをして是非認識をしておいていただければと思います。

総務部長：職員の状況について少しお知らせをしたいと思います。これまでの間、感染が疑われる職員は出ておりません。インフルエンザでは数名おりますが、回

復をしております。

また小学校の臨時休校における休暇制度を創ったわけですが、これについては現在 81 名の職員が利用をしております。正規が 36 人、嘱託が 25 人、2 種臨時 20 人ということで届が出ておりますので、お知らせいたします。

(3) 本部長指示

本部長：今日急遽、第 3 回目を開催しておりますが、先程健康福祉部長からも話がありました。WHO も新型コロナウイルスの感染拡大が世界的な大流行状態ということで、恐れていたパンデミックという状況にあるということと言われたものですから、それに伴って、こちらの方針も少し変えていかなければいけない、間髪置かないでやらなければいけないということで開催しました。

今、樋口部長からと、教育部長、こども部長からも話がありました。行政としては、基本的に国の方針に従いまして、3 月 24 日まで自粛期間を延長とするということになりましたので、よろしくお願ひします。

後は医療的な話になりますが、大きな問題の一つが的確な治療がないということ。もう一つが、抗体を促すためのワクチンがないということ。ですから、診断を受け、陽性が出て入院しても、治療が何かというと、対症療法しかない。

今日、NHK のお昼のニュースをご覧になった方がいらっしやると思いますが、北海道の方で陽性になった入院している 20 歳代の女性が、インタビューを受けて、彼女は、お母さんに陽性が出て、そして、最初の症状も軽い咳が出るくらいで、ただの風邪と思っていたら、翌日高熱が出たので医療機関に行って、入院して検査を受けて、陽性が出たということです。その後彼女が、もしお母さんがそうでなかったら、ただの風邪だと思って医療機関に行くことはなかったと言っていますし、医療機関に行って何をしたかということ、発熱で解熱剤を使い、咳が出るので鎮咳剤を出して咳を抑えるという対処療法だけです。看護師さんは、後は自分の力で治してくださいと言っている。それしかない。ですから、本当にかからないようにするしかない。

やはり、厳しいことが色々あるが、先程言った 3 つの条件がある空間、換気の悪い密閉空間、人が密集している、人が集まって声を出すというところには、できるだけ行かないようにしてほしい。今、散発的な発生になっているので怖いですよ。今まである程度感染源が分かっていたが、分からないケースが出てきているので注意しなければいけない。厳しいが、特別なことがない限りは、今言った場所には行かないようにして、自分の中にウイルスを入れないようにしないといけない。

また、PCR 検査については、国から始まって医療機関で行うことなので、我々行政がどうにもできないことですが、昨日新聞でも、PCR 検査の精度が 70% で、あとの 30% は検査時に擬陽性とか擬陰性になってしまうので、100% は信頼できないというようなことを専門家が言っていました。

そういうこともあるので、とにかくそういう状況にならないように、市民の皆さんに対して、我々は引き続き迅速な情報提供と、冷静な対応ということで、自分自身も、日々の生活で注意してほしい。また当初に言いましたが、後は抵抗力しかないので、しっかりご飯を食べて、寝て、休養を取るとか、そうやって自分で注意していかなければいけない。日常生活は大変ですが、それをお願いしたい。

それから、今言ったように、個人の感染予防。これは一般的な注意です。皆さんの方で、これはというものがあれば是非、担当課の方に言ってもらって、急遽集まってもらってもらわないといけないことが今後もあるかもしれませんが、必要な対策っていうのは躊躇なく、こちらも決断して実行していくということで、全庁挙げて、不安をつぶしていかななくてははいけない。今のこの状況は、厳しいという思いがあります。世界的にこれだけ広がってきているというのは、パンデミックとWHOも言わざるを得なかったと思う。是非気をつけてほしい。